

地方創生で活気のある町に

議会だより

# から

# No. 103

2026.01.30



02. 〈特集〉はばたけ！ 専門学校生議会「勝浦ミライ会議」

05. 視察報告 〈議員の目〉

06. マラソン議会 (9月～12月)

08. Pick Up! 決算報告 **志理！限界突破！**  
/ 町民談 私はこう見る！ 令和6年度事業

12. 一般質問

18. 町民の声

19. 〈議長コラム〉共勝創躍 (きょうしょうそうやく) / 編集後記

20. 〈巻末特集〉遠くで聞いた Good くる話 / 表紙探訪



# はばたけ!

## 専門学生

### センモンガッコウセイギカイ

## 議会

### 勝浦ミライ会議



今回は、徳島医療福祉専門学校の学生を迎え、模擬議会を開催しました。学生の多くは勝浦町外、県外から来られ、町内の寮で生活しながら学んでいます。言わば「町で暮らす若者」であり、町民と同じ生活者の視点を持っています。今回の企画は、そうした若者の率直な声を議会の場で受け止め、勝浦町の課題や可能性を共に考えたいとの思いから実現しました。

将来、彼らがこの学校を選んだよかったと感じてもらえるよう、議会としても開かれた対話を重ねていく必要があります。模擬議会は、その第一歩であったと考えています。

### 勝浦町の魅力を発信し、観光客をもっと増やそう

西園寺議員

勝浦町にはフライトパークやキャンプ場など自然を生かした魅力的な施設があります。初めて来る人にとっては案内が必要。勝浦町の特産品であるみかんや桜をデザインに取り入れ、地域らしさを表現し、SNSを活用した宣伝やインスタグラムを開発し、観光客をもっと増やそう。

ラムを開設し説明をおこなうのもよいと考えますが、どうでしょうか。

**企交課長** 観光案内の看板設置は、平成23年度に各所で整備をおこなった。設置から年数も経過しており修繕をおこなっている。分かりやすい町の観光インスタやホームページ案内に努めたい。

将来的な構想としてロープウェイの設置です。美しい山々の風景を空から眺められるルートを作ること、町全体を見渡せる観光の目玉となると思います。さらに、ゴンドラを恐竜の顔にすると、とてもインパクトがあり、話題性も高く注目されると考えます。

**企交課長** 勝浦町は自然が豊かで、こういった施設があれば町全体を



ゴンドラを恐竜の顔にする

度や取り付け位置の調整をおこなう経過を観察したい。

### 観光客向けの花火大会の開催を

西川議員

大規模な花火大会開催による地域活性化についての質問をします。開催時期は花火のコストが抑えられ、同様のイベントが少ない秋冬を考えています。観覧エリアをいくつか設置し特色をつけることで、違うエリアでも見たいエリアが増えると思います。高いところからの観覧席など、地域の特徴を生かすことも大事だと思います。開催についてどう思われますか。

**企交課長** 観光客向けの花火大会となると多岐にわたる費用が発生し、中規模なものでも数千円かかります。観光客の増加をめざして経済



効果を生むためには、一定規模での開催で滞在時間を長くする必要があります。受け入れ体制の整備や費用調達面、会場運営面でのデメリットもあるのが現実だと思っています。

花火大会は恒例行事として定着させることが重要です。町民、行政、事業者が協力し、継続的な地域づくりをおこなうことが大事だと思います。勝浦町の魅力を再発信し、次世代へつなぐ地域活性化モデルとして発展させていきたいです。町長、花火大会開催についてどう思われますか。

帰る時間には通学路が真っ暗になりとても危険です。特に小学校周辺や農協裏、横瀬橋から学校までの間が街灯が少なく、点灯していないものもあります。もっと街灯を増やすことはできませんか。

**総務課長** 新たな街灯の設置は難しいが、小学校周辺や農協裏の町道に関しては、予算の範囲で新しいものに交換したり、移設するなどの対応をしたい。

**町長** 町内の街灯は600基余りあるが、従来の蛍光灯からLEDに変えたことで電気代が年間約100万円節減されているので、もう少し増やしても良いと思っている。冬場は暗くなるのが早いので、場所などについては検討していきたい。

**建設課長** ②③⑥(写真参考)は県道なので管理者である県と協議する。冬場は日が暮れるのが早く、毎日通る道で安全確保が必要な



**建設課長** カーブミラーのサイズを変えるのは可能だが、まずは角



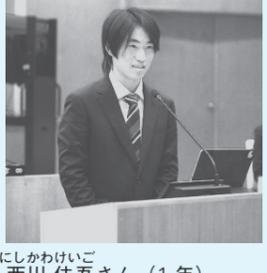
西園寺 来夢さん (1年) 理学療法学科 / 寮生 愛媛県大洲市出身



藤村 心優さん (1年) 作業療法学科 / 寮生 愛媛県宇和島市出身



新居 佑奏さん (1年) 作業療法学科 / 自宅生 徳島県徳島市出身



西川 佳吾さん (1年) 理学療法学科 / 寮生 徳島県板野郡出身



### 誌面と動画の連動企画

このコーナーは、誌面と動画の連動企画です。勝浦町議会ホームページまたはYouTubeにて動画を見ることができます。



空から見渡せることができ、楽しいアイデアだ。恐竜の顔が配されたゴンドラは非常にインパクトがあり、話題性は抜群だが、やはり多額の建設費用、維持やメンテナンスなど収支面からすると、現時点での実現は困難だ。

**町長** キャンプ場と対岸を吊り橋を使って行き来するという構想もあったが、大きな費用が必要で、実現には至っていない。それ以上にこの恐竜顔のゴンドラというのは費用がかかるので、勝浦町の財政規模では難しいと思う。

### 通学路の安全確保を

藤村議員

私は寮から通学しています。冬場は日が暮れるのが早く、

## 先進地3町の取り組み、 町政への有効な提言に生かす！

10月7～9日、島根県美郷町と飯南町、岡山県美咲町への視察研修をおこなった。勝浦町でも年々深刻化している鳥獣害に対し、「美郷バレー構想」として駆除から捕獲後の有効活用まで計画的に展開している美郷町、「移住したい町ランキング」の上位に入る飯南町のまちづくり、議会活動をメディアミックス構想のもと、分かりやすく発信している美咲町を視察、議会としても相互啓発し、今後の町政に提言していきたい。



美郷町のオリジナル革製品

島根県飯南町は住みたい「田舎ベストランキング」において5000人以下の町で子育て世代部門で全国1位に選ばれた町である。目標として「子どもたちの声が聞こえるまちへ」を掲げ、2020～2029年までの年間

島根県三郷町の鳥獣害対策事業「美郷バレー」は、鳥獣害対策機器メーカーと麻布大学と共同して取り組んでいる。何とかなるだろうの行政依存、補助金依存、猟友会依存、また、猟友会駆除班に組織力がなく各々で動くことと高齢化など、さまざまな問題を役場職員の安田亮さんが組織整備をし、イノシシ肉を「おおち山くじら」と名付けて特産化。皮も製品化して美郷町に足を運ばないと買えない。地域内で売る販売戦略を補助金なしで事業を構築している。



出産祝いに町産材の木工品を贈呈

出生人数を25人とし、子ども未来推進室を設けている。勝浦町もいろんな施策は講じているが、大きなスローガンがないのは寂しい。また第三子に50万円の祝い金、結婚祝い金5万円の支給。これは勝浦町にはない施策である。病児病後児保育施設もニーズ調査をして半数以上の世帯からの要望があり、今年度から事業を開始されたということでもかなりの努力がみえた。

岡山県美咲町は開かれた議会を掲げ、学生アンバサダーや、有識者にアドバイザーを委託。出前議会の実施など多くの取り組みを実践し、住民と距離の近い議会運営を心掛けている。議会アカデミーは、町内外を問わず募集し、議会、委員会の仕組み、議会の活動、行政施策などを説明

3町を視察して、美郷バレー構想は、人材があるところに事業が発展していると強く感じた。飯南町を参考に、いろいろなニーズ調査をおこない、子育て施策の充実を提案していきたい。美咲町では、今、勝浦町にあるみかんや恐竜を生かして新たなストーリーを展開していくことで町全体のアピールをおこない、継続した来町者の増加を狙うことができるのではないかと感じた。今回は、さらなる検討課題が見えてきた研修だった。

議会の活動報告は、メディアミックス構想に基づきSNSを活用して積極的に発信している。同じく美咲町は、西日本最大級の養鶏場でのブランド卵の生産や日本棚田百選の棚田を活用し、卵かけごはんを町おこしを進めている。平成20年に卵かけごはん専門店「食堂かめつち。」を開店。町出身のジャーナリスト岸田吟香氏が、明治時代初期に卵かけごはんを食べたという文献から「卵かけごはん発祥の地」とし、歴史を背景にしたストーリーで広報を展開。令和5年12月に客数100万人を達成した。

若者が「ここで学んでよかった」「この町で働き、暮らしたい」と思える勝浦町をめざしていきたいと思えます。今回の模擬議会を通じ、若者が町に関わる機会をつくるのが、将来の定住や関係人口の拡大につながる可能性を強く実感しました。勝浦町で学び、生活する若者の声を一過性のものに終わらせるのではなく、政策や事業にどう反映させていくかが、今後の議会の大きな役割だと考えます。

勝浦病院の実習の受け入れは、1年生2人ずつ、2年生1人ずつであり、3年生の受け入れがありません。寮から町外の実習に通う際は、自動車、バイク、路線バスを利用していますが、期間が

## 勝浦病院での臨床実習生受け入れ拡充について

新居議員

新しい星谷橋が完成したら潜水橋の上から眺める花火大会ができたらいいなと思ってる。費用に見合う収入は難しいが、その時に試してやってみてほしいのではと思う。60周年の時に花火を打ち上げ、町民には喜ばれたらと思うので、一度そういう機会でもやってみたい。



長い学生の大きな負担になっています。勝浦病院で3年生の実習を受け入れていただくと、指導者の負担は増えますが、学生や患者様、利用者様にとってもメリットがあると考えます。ぜひとも受け入れを検討していただければと思います。

病院長 町内の病院、学校というところで、今後、全体の実施計画を見ながら、リハビリ部門、研修担当者の人事や人員配置も考えながら、受け入れの拡大が可能か検討し、学校側と協議していきたい。

勝浦病院の地域包括ケア病棟もしくはリハビリテーション科に、作業療法士を少なくとも1人配置することを提案します。

病院長 リハビリテーション科



特に印象的だったのは、勝浦病院での臨床実習の受け入れや作業療法士配置に関する提案です。学生自身の学びの場としてだけでなく、地域医療の充実や患者の生活支援まで見据えた視点は、私たち議会にとっても多くの示唆を与えるものでした。

## 議員考察

また、通学路の街灯整備や観光案内の工夫・イベント開催など、日常生活の中で感

## 若者が住み続けやすい町へ

若者が「ここで学んでよかった」「この町で働き、暮らしたい」と思える勝浦町をめざしていきたいと思えます。今回の模擬議会を通じ、若者が町に関わる機会をつくるのが、将来の定住や関係人口の拡大につながる可能性を強く実感しました。勝浦町で学び、生活する若者の声を一過性のものに終わらせるのではなく、政策や事業にどう反映させていくかが、今後の議会の大きな役割だと考えます。

のりハビリ専門職員の配置は、理学療法士5人のみになっている。患者様にとってプラスであることはわかっている。経費と収入のバランスから、経費増を伴う職員増を簡単におこなうことは難しい状況であり、人口減により全体の患者数が減少傾向であることから、慎重にならざるを得ない。議員からは、作業療法士1人の配置についてご提案をいただきました。既

に院内での議論をおこなっているが、実習施設の登録のためには最低2人の作業療法士が必要なので、1人にこだわらず今後検討を進めてまいります。

# マラソン

9月・10月・11月・12月

# 議会



## 一般会計予算 補正含め総額 41 億 8084 万円

補正予算	主な内容	(万円)
9月	令和9年度基準年度標準宅地の鑑定評価業務	219
	低所得者保険料軽減負担金過年度分精算事業	48
	予備費	115
11月	分限処分取消審査請求対応	55
	町地域活動支援センター運営補助金	33
12月	物価高対応子育て応援手当	1,115
	事前復興拠点整備事業	1,041
	第8分団消防詰所新築工事	989
	被災者生活再建支援システム導入	352
	基幹系業務システム標準化移行に伴う番号連携対応	330
	令和7年度税制改正対応作業	275
	農村環境改善センター運営事業（搬入口扉改修工事）	99
	介護保険料特別会計繰出金	61
後期高齢者医療特別会計事務費繰出金	1	

### 9月議会

令和9年度基準年度標準宅地の鑑定評価業務

令和9年度評価替えに伴い標準宅地の鑑定業務を委託する。1地点6万8200円 32カ所。 219万円

標準宅地の鑑定業務を委託するということだが、標準宅地とは。

総務課長 評価替えを3年に一度おこない、基準になるポイントをもとに周辺の評価額を決定する。

## 介護保険特別会計 補正含め総額 10 億 3541 万円

補正予算	主な内容	(万円)
9月	国庫支出金等過年度分返還事業	5,464
	一般会計繰入金過年度分返還事業	163
12月	介護保険システム改修事業	122

### 10月議会

災害支援車購入契約の締結について

災害支援車1台 834万円  
災害支援車を含む合計4台が発注され、3月末までに納入されるが、保管場所はどうするのか。

総務課長 トイレカー、給水車、災害支援車と合わせて、一時的な駐車スペースとして屋根のあるところを現在所有者と交渉をしている。正式保管場所についても用地交渉をしているが、順

## 後期高齢者医療特別会計 補正含め総額 1 億 3487 万円

補正予算	主な内容	(万円)
12月	後期高齢者医療システム子ども・子育て支援金制度対応	130



被災地に向く新しい防災の形

災害支援車やトイレカー、給水車の運用はどうするのか。

総務課長 具体的な要綱については、まだできていない。ただ、防災のイベントには使えると思っている。それから、トイレカーについてはイベント等の貸し出しも考えている。また給水車については、少し大きいものになるので、断水時の給水には使用できる。

### 11月議会

分限処分取消し審査請求対応費

55万円

これからの流れは。

総務課長 県の人事委員会で調査があり、その後、証人喚問がおこなわれる。その回答に対して、弁護士と相談して進める。

「さるびあ」の自動ドア修理費

33万円

故障の原因と修理までの対応は。

福祉課長 耐用年数が過ぎ老朽化によるもの。修理ができるまでは、天気の良い日は解放したり手動でおこなっている。

町道「坂本下生実線」復旧工事追加費用

42万円

追加工事周辺の地盤は大丈夫か。

建設課長 降雨後にはパトロー



モルタルの吹き付けで安全に

### 12月議会

勝浦町火災予防条例の改正  
林野火災の注意報が発令された場合、住民への周知方法と違反者への対応は。

総務課長 防災無線での放送、ホームページ、かつうらアプリで発信する。違反者について、野焼きは違反行為のため罰金が科せられる場合がある。

特別職及び議員報酬条例の改正

10月9日に開かれた特別職報酬等審議会の答申を受け改正。

	(新)	(旧)
特別職報酬		
町長	746	733
副町長	597	586
議員報酬		
議長	300	273
副議長	250	234
議員	220	195

勝浦町道路線の認定について

与川内地区から坂本地区の上勝町との町境付近までの旧県道徳島上那賀線の移管に伴う認定。起点三溪字日向川8番1地先、



左：坂本橋、右：宮下橋（鉄筋が見えている）

終点坂本字稲田161番地先。新規路線の既設の町道との接続地点で区域分けをし、区間ごとに徳島県が整備をおこない、整備完了区間から随時供用開始する。令和10年度末で全線を整備予定で、その後、区域決定、供用開始をおこなう。

今回認定する区間で橋の補修が予定されており、補修が終

## 人事

教育長の任命に同意

大久保康雄 今山 長



教育長 大久保康雄氏

員	固定資産評価審査委員会
山本達夫(再任)	生名
人権擁護委員	前田泰子(再任)
横瀬	大西博巳(再任)
生名	(敬称略)



# 令和6年度 決算認定!

## 一般会計歳出総額41億1200万円

9月9日、10日、11日、18日にわたり、一般会計・特別会計の決算を審査しました。審査は会計ごと、また担当課ごとにおこなわれ、適正に支出されているか、不用額は妥当であるか、事業は計画通り実施され成果を上げているかなどについて、細かく質疑がなされました。

**ふるさと納税経費**  
2,181万円

町民がふるさと納税を利用し、勝浦町の税収がいくら減ったのか。  
**税務課長** 令和7年度に住民税で影響する分で、141人の方のふるさと納税をした額が、783万4000円。町民税に影響する額は、394万1000円。この金額が減収になると思われる。

**恐竜関連事業**  
529万円

**中田 敏明 (久国)**  
井戸端塾で35年以上活動しています。手作りの恐竜のミニチュアも少しずつ増え、連休や夏休みなどには子供連れの家族が楽しそうに訪れています。恐竜の里の落葉清掃や水道の管理は大変ですが、仲間と一緒に汗を流しています。

**ごみ収集車修理費**  
178万円

パッカー車の修理内容は。  
**住民課長** ローター部分の修繕に75万円。車検時の点検において、タイヤの交換、ブレーキ関係等。

**星谷橋架け替え事業**  
984万円

**寺尾 貴志 (星谷)**  
星谷橋も70年以上になり「ありがとう」と笑顔でお送りしたいと思います。利便性向上はもちろん、子供たちにとってより安全な通学路になるよう期待しています。誰からも愛され、思い出に残る新星谷橋になりますように。

**まちづくり 防災**

**総合計画策定**  
164万円



第六次総合計画審議会での協議内容を情報公開すべきではないが、パブリックコメントをおこなう。

**令和6年度支払い遅延**  
53件

6年度教育委員会の支払い遅延が34件、その原因は。  
**教委局長** 担当職員と副担当職員が同時に休職したため、業務量に対しての人数は厳しかった。  
 職員が2人も同時に休職したことに対してフォローや、管理職として上層部に相談する必要があったのではないか。  
**町長** それぞれ業務をいっぱい抱えている。職員の資質が一番の原因ではないかと思うので、指導を徹底できるように、今後進めていきたい。

**金融機関での公金取扱手数料**  
69万円

役場窓口でのキャッシュレスの決済を可能にするべきでは。  
**出納室長** 口座振替を奨めているが、キャッシュレスは関係課と相談が必要。

**公共音楽活性化事業**  
93万円

**太田 美恵子 (棚野)**  
会場いっぱいの集客で、多くの町民が本格的な歌手の声に触れる機会ができてよかったです。さすがはプロ、観客は西村悟さんの声に魅了されたコンサートでした。今後も定期的に開催してもらいたいです。

## 町民談 わたしはこう見る!

### 令和6年度事業

令和6年度の事業について町民のみなさんに聞きました。

**水質検査 (PFAS)**  
66万円

有機フッ素化合物 (PFAS) を定期的に検査するの。  
**水道課長** 国の制度概要に基づき検査している。7月の検査結果も、ホームページに掲載している。

**地域公共交通体制整備事業**  
218万円

**西谷 フジエ (今山)**  
大変ありがたい制度ですが、免許返納者も増加し、タクシー代も上がっているの、もっと制度を拡充して欲しいです。



### 決算認定反対討論

賛成7 反対2で認定された  
**反対討論 福井 議員**

支払い遅延、繰越事業が多く、納得できず賛成できない。支払い遅延が、令和5年度17件、令和6年度53件と2倍以上に増えている。職員についても処分がおこなわれたということは聞いているが、職員の資質に問題があったということまで片付けてしまっている。管理職にも責任がある。組織全体の信頼回復のために、改善策と管理職の責任の取り方を、見える形で示していただきたい。

教育

### 勝中グラウンド防球ネット工事 未執行



中村 修二 (中角)

左バッターが大きなファールを打つとすぐにフェンスを越えてしまいます。防球ネット設置早くお願いします。横瀬小学校のナイター整備も含めているとグラウンド関係の要望の早期対応して欲しいです。

勝浦中学校防球ネット建設事業が繰り越されたが、現在の状況は。教委員長 入札を実施したが落札に至らなかった。再度設計を見直し、精査中である。

### 学校給食費無償化事業 882万円



樋口 彩・時存 (与川内)

物価高騰の折、給食費無償化はとても助かります。今年4月から、全国の小中学校給食無償化のニュースがありました。勝浦町でも実施して欲しいです。

### 高校生等 修学費助成事業 970万円



上原 武史・珠美・修大 (横瀬)

阿南市から移住して来て、前の市では無かったので喜んでます。小松島市への通学費用に使用させてもらっています。

### 高校生議会の開催 6万円



山本 達夫 (生名)

勝高生のみなさんはチームライフで全国大会に常時出場し、人形浄瑠璃でも社会に貢献するなど頑張っておられますので、いつまでも貴高が存続することを切に望みます。

### 横小高圧設備改修工事 未執行

繰り越しになっている横瀬小学校の高圧設備改修工事。現在進み具合は。教委員長 設計書、仕様書が必要なので、四国電気保安協会に相談して進めている。設計業者も忙しく相談に乗ってもらえない状況だ。高圧設備の更新事業だが、電気の点検をしてもらって保安協会、また町内電気工事業者へ情報収集しながら取り組んでいるところだ。

医療・福祉

### フレイル認知症予防事業 44万円

吉岡 正治 (掛谷)



フレイル予防は個人の課題であると同時に社会の課題でもあり、運動教室は「身体を鍛える」と同時に「人とつながる」ことを実現する仕組みです。身体・心・社会をつなぐ営みとして、その価値は今後ますます大きくなるでしょう。

### シニアのためのスマホ教室 27万円



福本 操 (中角)

私たちアナログ世代は、スマホのさまざまな機能を使いこなせていないので、教室の開催は必要と思います。便利に使いこなせるようになりたいです。

### 勝浦病院経営状況 単年度収支 -8513万円

経営強化プランで最も力を入れていくところは。病院長 地域包括ケア、健診、救急医療の3本の柱で、入院収益が一番大きいので有効に利用する。来年度以降、頑張っってプラスに転じていけるように努力したい。

——当年度の赤字が約8500万円。経営をしていくための補填は。病院長 資本で埋めている。次年度から赤字解消に向けて動き出す。

農業

### 鳥獣害対策事業 2,056万円

廣田 大輔 (生名)



中山間地域の住民の安全、農産物の継続経営していく為に有効な事業と思います。獣害による耕作放棄地、荒廃を防ぐ為にも、継続的に有害獣を駆除し生息密度を減少させて欲しいです。

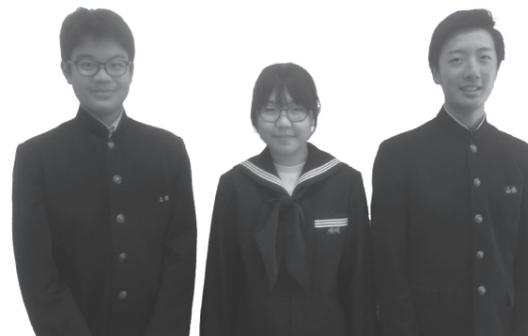
### 広域農道整備事業 711万円

大谷 智彦 (坂本)



徳島市と上勝町を結ぶ延長27Km総事業費268億円の農道です。国予算の大幅な減額により、完成の目途はついていません。町当局においては、予算の復活を求め国県への要請をお願いするとともに早期完成を強く要望いたします。

### 阿波かつうらブランド化事業 1,436万円



上岡 優心・明崎 優羽・山西 康志郎 (勝中生)

町の特産品であるみかんを原料とし、幼児からお年寄りまで食べやすいみかんシロップを作りました。商品名は「みかん、みかん、みかん」によってネ市で販売しています。

産業  
振興

① コミュタス

消防団の業務を効率化するアプリ  
<https://www.commutas.jp/>



暑い体育館でバテバテ

所にも広がったのか。

**水道課長** 国の制度に基づき、店舗兼住宅のみの場合が該当するとしていたが、令和7年4月1日付で浄化槽設置事業要綱の改訂があり、令和7年度から事業所にも適用ができるようになった。しかし、町の補助金要綱が改まっていないので、早急に改めて次年度から対応できるようにする。

——合併槽の人数槽は、建物の床面積等によって人槽が決まっているが、状況により、大きさや人数だけではなく、柔軟な対応はできないか。

**水道課長** 住宅の浄化槽を設置する場合の処理対象人員算定については、日本工業規格に基づいて算定されており、延べ面積で合併槽の人数は決まっている。そのため、柔軟な対応はできない。



いざという時の訓練を

**トンネル災害の訓練実施を**

——新坂本トンネル内に設置されている非常用装置、利用時はどのような動作をするのか。

**総務課長** 非常電話は110番で県警本部、119番で役場につながる。警報機は、警報表示板にトンネル内事故発生が表示され、赤色点滅灯とサイレンが鳴る。

——トンネル火災も消防団で対応しなくてはならない。トンネル災害に対しての訓練を実施してみてもどうか。

**総務課長** 訓練実施となると、警察、道路管理者などと連携が不可欠となる。装備品等が高額、訓練指導を受ける調整に時間がかかる、団員の安全確保が必要だが、本町に消防署がない状況では、訓練実施は非常にハードルが高いと考える。本団とどういった訓練が可能か検討していきたい。



簡単に位置確認ができるスマートトラッカー

**提案 スマートトラッカー**

スマートトラッカーはスマートフォンで位置を確認できる小型デバイス。値段も2000円程度と安価。持ち歩いているものへの取付や服に縫い付けたりしておけば、行き先がわからなくても簡単に検索できる優れものです。徘徊してしまう可能性のあるご家族がいるご家庭に、スマートトラッカーの利用を提案してみたい。

行動監視や行為確認の防犯カメラの設置は、個人的権利の侵害という部分もあり、プライバシーの問題や倫理的な観点からも慎重に検討をする。消防団と相談して、防犯カメラの設置は、今後、防犯上の必要があれば、設置を検討していく。

——防犯カメラが有効ではないか。各消防団の詰め所に設置してどうか。カメラの電源も取れ、ネット環境もある。少しずつでも取り付けていけないか。

**総務課長** 行政による安全なまちづくりの取り組みとして、有効な手段である。

ながお 議員



**健康被害のない 体育館の空調設備設置は 快適な環境整備を**

——学校体育館への空調設置は来年夏までに間に合うのか。また教育長の見解は。

**教委局長** 今の段階では厳しい。

**教育長** 熱中症対策は活動時間の調整、扇風機、スポットクーラー、水分補給を徹底し、児童生徒の健康、安全を守り空調設備と合わせて現場対策も重ねて進める。

——3校同時の設置の可能性は。

**教委局長** 同時着工にすると、体育館が全部ふさがれる可能性がある。財政的にも年次計画を立て進めていきたい。

——補助対象が、店舗、商店など事業

うちたに やすひろ 議員



**消防団アプリに無料アプリの運用を 有料アプリは本当に必要か**

——消防団支援システム「コミュタス」は何人が利用をしているのか。また、今は試用期間で無料だが、有料となるといくらかかるのか。

**総務課長** 登録者は163人。一人当たり月300円。現員数では、79万9200円が年間利用料となる。

——火災が年1回あるかないかの頻度に対してコストが見合っていない。大半の機能が無料アプリで代用が可能だが、正規導入を考えているのか。

**総務課長** テスト形式での訓練等を実施していく、利用状況を確認しながら正規導入の有無を考えていきたい。

せと 議員



**高齢者の見守りについて スマートトラッカーのPRを**

——認知症高齢者等による徘徊者の現状は。

**福祉課長** 行方不明の可能性がある方は3人から4人いる。徘徊にかかわらず見守りが必要な方は包括支援センターや民生委員、また社協のほか、見守り活動協力機関が日頃から目をかけ、見守りをする体制を整えている。毎月のケア会議では、問題解決に向けケースごとの検討などもおこなっている。引き続き関係機関と連携を取っていきたい。

一般質問

町政の“ここ”が聞きたい!

(議員名あみかけ項目は記事掲載あり)

防災・まちづくり	
星谷橋	長尾 福井 玉置
上下水道	長尾 瀬戸
消防団	内谷
常備消防	花房
災害対応	内谷 瀬戸 福井
地域交通	井出
通信	井出
女性活躍の応援	美馬
総合計画	花房
改善センター	節
教育・子育て	
体育館空調	長尾
スクールバス	内谷
給食	福井
教育委員会	節
観光・にぎわい	
宿泊施設	井出
町制70周年	玉置
商工業振興	
企業誘致	長尾
医療・福祉	
高齢者見守り	瀬戸
人事	
政策監	福井
役場職員	井出
財政	
大型事業	福井
予算	節
その他	
町政振り返り	花房
事業進捗	玉置

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



**給食センターのその後**  
引き続き、勝浦町直営で学校給食の提供を

**福井 裕美** 議員  
—— 独自アンケート調査（小中学生のいるご家庭26軒の声）で「今の給食センター方式を続けてほしい」という声が多数であった。これについてのセンター長の思いは。

**センター長** 給食センターの運営は、可能な限り直営でという方針を持ってきた。学校への安定した給食の提供が最優先。保護者のご意見も交え、より良い体制を検討する。

—— 来年度の会計年度職員の調理員募集をされているが、「若く長く勤められる方を雇用してほしい」との現場の声がある。そういう人材の確保に努めていたのではないだろうか。

**センター長** 若い人限定という募集は難しい。応募してきた方に対して対応する。若い人の話については今後検討する。

**星谷橋架け替え、道の駅周辺公園整備**

—— 星谷橋架け替え事業の住民説明会は、いつ開催するのか。

**建設課長** 今年度内をめどに開催できるよう、手続きの作業を進めている。事業についての質問があれば、建設課に問い合わせてもらえたら対応する。

—— 道の駅周辺公園整備事業の事業費は、およそいくらか。

**総務課長** 年内に公園整備検討委員会の答申を受けて、基本計画、実施計画が策定された後に事業費が決まるため、現在、答弁できない。



公園予定地



**町民の足をどう確保するか**  
スクールバスと地域交通の効果的な活用を

**井出 美智子** 議員  
—— 今までスクールバスはほかの目的に使うことができなかったが、地域交通の効果的な活用ができるようになった。一方で町内では免許返納者が大変増えている。今まで町は交通弱者に対して、福祉施策、公共交通対策としてタクシー券を配布等、スクールバスは教育施策として別々に運用してきた。これらを一体化して、全体として町民の足をどうしていくかという考えが必要ではないか。

**町長** 免許返納等で困るという、町民の全ての生活にかかわることを行政として賄うことは難しいが、これまでも取り組んできた弱者対策は今後も考えていく必要がある。

**IP電話廃止後の対応を**

—— インターネットは使わないが、IP電話が使えるからとケーブルテレビの使用料金を払ってきた人が多数いる。N T Tの固定電話を廃止している方もいる。不便になった人への対応は。

**総務課長** ケーブルテレビ徳島が10月に契約者に文書で通知。

IP電話で有料通話されている方へ電話により案内をおこなった。町は広報紙で周知している。  
代替手段の案内は民生委員や社会福祉協議会、ケアマネジャーへ依頼。みんなの運動会等において周知をおこない、通信手段がなくなり困る人がいないかの確認や代替手段の案内をしていただけ。よう、協力を依頼していく。



スクールバスの多目的な利用を



**女性に優しく健康で便利**  
安心して暮らせる環境づくりに女性の視点を

**美馬 友子** 議員  
—— タクシー助成は所得制限がある。介護を必要とする人や運転できない全ての人に移動支援をすべきでは。

**福祉課長** 非課税という所得要件がある。要綱改正に向け、人数等の把握に努める。

—— 女性の消防団の発足を提案したい。女性消防団は消火活動はしないが、防火啓発や災害時には、後方支援として命と生活を守る活動ができる。

**総務課長** 多様化による地域コミュニティの変化、地域防災力の強化を図るため、令和8年1月から女性消防団員の募集をする。女性消防団員の加入により、避難所運営支援で授乳室や更衣室の設置、家族や地域への防災意識の浸透など期待している。

**町長** 本団からも積極的に女性消防団員を増やそうと声があがってきた。いろんな視点から、女性の目線で消防に対する活動は必要だという認識だ。

**働く女性の応援を**

—— やっと誰もが集える公園ができる。こども議会でも遊具が欲しい等たくさん意見をもらってきた。反映できているのか。

**総務課長** コミュニティーの場として活用できる公園づくりを進めている。遊具の有無についても議論した。12月25日の答申を受け、今後、具体的な計画を進めていきたい。

**町長** 整備後も必要な施設は追加し、育っていく公園としたい。



こんな遊具が欲しいなあ

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>

議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。



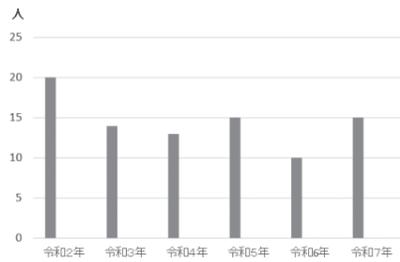
<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>

②デュアルスクール

住民票を移さずに地方と都市の2つの学校で教育を受けられる新しい学校の形

③ラーケーション

保護者の休暇に合わせて子どもが学校外で体験的・探究的な学びをおこなうため、平日でも学校を欠席扱いとしない制度



過去5年の出生人口



交差点の安全対策を



イベント時の観客の出入りが目障り

ら、人材作りから始める必要が出てくる。広域化と並行して町単独の常備化も考えていかなければならない。

**人口ビジョン 4000人目標**

——2040年に4000人の目標だが、今までの宅地分譲数と居住人数は。

**建設課長** これまでに造成した分譲地は11区画、売却済みは10区画、購入時点の入居人数が、総勢37人、うち子どもが17人。

——勝浦町に住みたくても空き家や賃貸物件、土地がない。以前は、分譲住宅に補助金を出し何軒か建った。それ以降できていない。何か施策が必要ではないか。

**町長** 新たな分譲地を8年度で探している。また、優良な空き家が増えている。これも移住定住に対して有益で、利活用をさらに幅広く考えたい。

消防広域化推進協議会の内容は。

**総務課長** 県内24市町村と13消防本部で消防広域化推進協議会を設置し広域化に向けた基本構想を7年度内に策定。広域化のアンケートの報告があり、20団体が人手不足などへの対応で消防の広域化が必要と答えた。

——広域化へ参加しながら、単独での常備化を調査研究する時期が来ているのでは。

**町長** 単独で常備消防をやっていくなら、

**花房 勝一** 議員

ルールは。

**総務課長** 担当が現場に向かい、小松島市消防本部に連絡を入れる。救助出動は町長から市長へ連絡し、小松島市消防本部へ要請する。



**非常備消防解消に向けて 町単独で常備化を**

——レスキュー隊への要請の

向上が期待される。加えて、今後公園の併設により、本町のにぎわい交流拠点、道の駅から勝浦川北岸観光地への周遊ルートが確立する。本町全体の観光振興や農業振興などに大きく貢献する。

——星谷橋が実現可能な予算の確保や、県の支援もいただける運びとなり、着実に前進しているものと確信をしている。町長の所見を。

**町長** 交通安全確保は必要な対策だ。来年度から本格的に橋脚の工事が始まる。特殊な工法ということで、中学校から工法の見学をしたいと申し出もある。子供たちにも橋がどうやってできているか知っていただき、安全で安心な通行ができる星谷橋へと変えていきたい。未来に向けて便利で安全な、長く利用していただけの橋になるようにする。

さらなる安全対策のため、見通しの確保、安全地帯の検討、星谷灰焼線の2車線化等により通学路の安全対策を今一度協議検討してみたい。

**政策監** 更なる安全対策の必要性、手法等についての検討はおこなっていく。

——星谷橋の各種効果は。

**政策監** 通学生の安全を確保する歩道の整備などにより、地域住民の安全安心の

**たまき まもる** 議員

要ではないか。

**建設課長** 新浜勝浦線との交差部分は、県警本部交通規制課、東部県土整備局との協議の上、安全確認についても配慮した設計となっている。



**星谷橋北詰交差点 安全対策は万全に！ 完成後の効果と期待は**

10月に新しく就任した大久保教育長は、小中学校の校長も勤め経験豊富である。人づくりのための教育方針は。

**教育長** 子どもの成長には、大人たちが同じ方向を向き温かく支えあっていくことが大切だと思っている。「地域と共子どもを育てる」ということを柱に、家庭、学校、地域が共に役割りを果たし、真の生きる力を身に付けられるよう進めていきたい。

——新たな事業の構想は。

**教育長** 来年度から新たな取り組みとして、デュアルスクール(②)の受け入れやラーケーション(③)の導入を考えたい。

ホール中央の通路は、講演時の出入り口。講師の方や観客の目障りになる。改修はできないのか。

**農振課長** イベント時の観客の出入りは都合悪いとの意見は聞いているので、改修したい。

——今後のスケジュールは。

**しとみ こういち** 議員

改善センターは築35年が経過し、経年劣化や使い勝手の悪い箇所がある。今後も活用していくための長寿命化対策の内容は。

**農振課長** 防水や内装の改修、舞台照明や電気設備、空調機器の更新などを検討している。自家発電装置については、総務防災課と協議していく。



**改善センター、長寿命化対策は どのような改修をするのか**

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。  
<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。  
<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>



「共勝創躍（きょうしょう・そうやく）」—— 町民と行政が手を取り合い、共に勝ち（共勝）、共に未来を創り（創）、共に躍動する（躍）姿勢を表した言葉です。



私は恐竜で応援!

任期も残り一年半余りとなり、箱根駅伝に例えれば、小田原を発ち大磯町を走る7区の中盤に差しかかっています。大磯町議会は、情報公開や住民参加を重視した議会改革で全国的に注目され、勝浦町議会も視察研修に訪れたことがあります。私たちもその姿勢に学び、2月から始まる新たな町政のもと、新町長と緊張感ある関係を保ちながら、町民の声に真摯に向き合い、残された区間を着実に走り抜けて次代へ襷をつないでまいります。



節公一

その一言が…ハラスメント研修

私にも最近そんな事があった。「まあまあなら それでいい」阿刀田高氏の言葉であり、歳を重ねると共に実感できる。言葉は魔力もあり、魅力もある。

議長  
コラム

勝浦町議会  
第43代議長 松田貴志

# 共勝

きょうしょう・そうやく

# 創躍

新年を迎え、町民のみなさまには健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。「シン山の神」の衝撃的な走りでも盛り上がった箱根駅伝が終わり、本県では1月4、5日に徳島駅伝が開催されました。参加郡市の中でも極めて小さな地域である勝浦郡から、2日間フルエントリーで襷をつないだことは、大変誇らしい挑戦でありました。私の同級生や子ども達と同級生らが出場し、世代を超えて地域を代表して走る姿に、私自身も大きな勇気をもらいました。

# 編集後記

議会でハラスメント研修会を実施した。

その一言が人を傷付けることが多くある。酒の席の事とかそんなつもりでは無かったでは済まされない。

日頃からの認識や人間関係の構築が大事だが、反対に壁に当たっていたり悩んでいる時に、言葉や文章の一言で勇気づけられる事もある。

私にも最近そんな事があった。

「まあまあなら それでいい」阿刀田高氏の言葉であり、歳を重ねると共に実感できる。

言葉は魔力もあり、魅力もある。

# 町民の声

日ごろ、みなさまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。



## 防災対策を優先したほうがいいのでは？



事業に順位をつけるのは難しい。県消防広域化推進協議会における基本構想の中で消防常備化を強く推し進めていただけるとのよう要請していく。

各市町村災害時総合応援協定を結んでいるが、大きな事故、災害はいつ起こるかかわからない。星谷橋架け替え事業や道の駅周辺公園整備事業よりも、命を守る防災対策を優先するべきと考えるがいかがか。

令和7年3月14日、6月5日、6月8日、10月15日に要請した。救助活動が3件、捜索活動が1件。

直近一年間のレスキュー隊要請の日時と事故の概要は。



## 子育て環境日本一に近づいてるかな？



恐竜フェスティバルや恐竜運動会など恐竜にちなんだ事業を展開しているが、さらに、道の駅周辺の公園整備とあわせた、恐竜を生かした交流拠点としての整備を推進していきたい。

住み続けたい、帰ってきたい、暮らしてみたい勝浦を実現するため、引き続き、広く町民のみなさまの声に耳を傾け、町の舵取り役として、誰もが幸せを感じられる町を実現していきたい。

令和4年度から新病院での診療を開始。病院改築に合わせて、地域活動支援センターさるびあを移転。特別養護老人ホーム喜楽園を改築することとなり、医療、福祉、保健の一体的な整備を進めることができたと思っている。

星谷地区念願の星谷橋架け替え事業に着手したが、財源の確保や効率的な事業促進を図る。

医療費、学校給食費の無償化や高校生の修学支援施策を始めた。本年9月から0歳児からの保育料を無償化にすることができた。

子育て環境日本一をめざした取り組みの成果、この2期8年で町長の評価は。



# 遠くで聞いた Goodくる ハナシ



おおくぼ ゆうき  
大久保 祐希さん  
1989年生  
今山出身 兵庫県在住  
兵庫県立尼崎総合医療センター  
救急総合診療科医長

文理中学、文理高校卒業後、福井大学医学部へ進学のため勝浦より転出。卒業後、徳島県立中央病院で研修医として勤務。現在は、兵庫県立尼崎総合医療センターで救急医として勤務。



## 遠くからのメッセージ

医師として働く中で、異なる施設で経験を積むことの大切さを実感してきました。環境が変わることで、これまで気づかなかった自分の課題や強みが見えてくることがあり、町の外で学び、働くことで初めて見える景色もあります。

若いうちに一度、外の環境に身を置いてみるのも一つの選択肢ではないでしょうか。外の世界を知ることで、勝浦の良さや課題にも改めて気づくことができます。その気づきを町に持ち帰り、次の世代につないでいくことが、これからの勝浦を支える力になると感じています。



## Goodくる視点

現在は兵庫県内の基幹病院で救急医として勤務し、救急患者の対応や若手医師の指導に携わっています。幼少期は主に祖父母に育てられ、近所付き合いの中で、高齢の方と接する機会も多かったです。勝浦で過ごした経験は、高齢化が進む現代において、人とのつながりを大切にしながら医療に向き合う姿勢の原点となっています。



## 表紙探訪

今号の表紙はこんな人

今回の表紙は1月4、5日に開催された、徳島駅伝勝浦郡選手のみなさんです。

勝浦コースが採用され、道の駅ひなの里かつうらから再出発しました。

地元の暖かいお接待や恐竜の応援もあり、選手のみなさんも一層の頑張りを見せてくれました。



## 表紙写真募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」! 詳細は下記 URL または QR コードをチェック!

<https://formok.com/f/1chm9gn/>

